

令和5年度 第2回
 函館市縄文遺跡群保存活用協議会会議録（要旨）

開催日時	令和6年2月16日（金）10時30分～12時00分
開催場所	函館市南茅部総合センター 第2研修室
議 題	<p>(1) 報告事項</p> <p>① 令和5年度事業報告</p> <p>② 令和6年度事業計画</p> <p>③ 世界遺産の保全にかかる遺産影響評価（令和5年度下半期）</p> <p>(2) その他</p>
出席委員	<p>熊谷 儀一 会長 佐藤 安浩 副会長 竹内 正幸 委員</p> <p>田名部忠勝 委員 大宮トシ子 委員 三浦 孝史 委員</p> <p>田中 佳丈 委員 山口 哲也 委員 伊勢 一哉 委員</p> <p>中本 邦雄 委員 佐々木孝比古 委員</p> <p style="text-align: right;">(計11名)</p>
事務局	<p>教育委員会</p> <p>生涯学習部次長 宮田 至</p> <p>文化財課長 木村 元子 文化財課主査 野村 祐一</p> <p>文化財課主査 吉田 力 文化財課主事 加藤 歩</p> <p>文化財課主事 小塚 陽介</p> <p>南茅部支所</p> <p>地域振興課長 外山 覚</p> <p>産業建設課長 長谷山裕一</p> <p>観光部</p> <p>観光企画課長 井本 剛志</p> <p style="text-align: right;">(計 9名)</p>

1 開 会

(事務局)	開会
-------	----

2 挨 拶

(生涯学習部次長)	開催挨拶
-----------	------

3 出席者紹介

(事務局)	協議会委員および事務局紹介
-------	---------------

4 議 事

議長あいさつ

(議長)	<p>みなさん、おはようございます。</p> <p>これから議事に入るが、今年度最後の会議ですので、この1年間でそれぞれ皆さんから気が付いた点、縄文まつりも含めて、今年度の事業について、いろいろとご意見をいただければ大変ありがたいと思っている。よろしく願います。</p>
------	---

(1) 報告事項

① 令和5年度事業報告

(議長) (事務局)	事務局に説明を指示 (資料1)「令和5年度 事業報告」説明
(議長)	札幌のチカホで行われた縄文雪まつりでのフリートークで、垣ノ島遺跡や大船遺跡、また南茅部地域の縄文に関して、参加者から参考になるような意見等があったのか。
(事務局)	縄文雪まつりのフリートークについては、市教委から会場の参加者に向けて話をしたもので、参加者から質問を受け付ける形式ではなかったが、参加者の方々には興味深く話を聞いていただいた印象がある。
(議長)	はい、分かりました。今後は、新年度に開催される各種事業において参考になるようなご意見等が出たら、またこの場で発表していただきたい。
(事務局)	承知いたしました。ありがとうございます。

② 令和6年度事業計画

(議長) (事務局)	事務局に説明を指示 (資料2)「令和6年度 事業計画」説明
(議長)	郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」は、小学生が対象ということだが、中学校はどうなのか。
(事務局)	いま現在は、市内全域の小学校3年生を対象に行っている事業となる。 中学校に関しては、地域学習などのカリキュラム、全校的に対応できるような事業は組めていない。ご要望も踏まえながら、今後の実施に向けて、どのようなことができるか検討していきたい。

(議長)	<p>分かりました。</p> <p>南茅部中学校の校長先生、いまの事務局からの説明について、なにかございますか。</p>
(南茅部中学校長)	<p>南茅部中学校では、10月11日に縄文学習として、1年生が垣ノ島遺跡と大船遺跡を訪れ、体験学習としてものづくりや縄文文化交流センターの見学をした。1月25日には土器洗い体験として縄文文化交流センターへ行って土器洗いの体験をしている。</p> <p>1年生については、以上の学習を取り入れており、来年度も計画する予定である。</p>
(議長)	<p>分かりました。ありがとうございます。</p> <p>いまの事務局からの説明について、南茅部小学校の校長先生からなにかございますか。</p>
(南茅部小学校長)	<p>市内全域の小学校3年生が全員見学させていただけるとのことで予算をとっていただき、大変ありがたいと思っている。この南茅部地域に限らず、市内全域の小学生全員が見学できるこの事業は、大変ありがたく感じている。</p>
(議長)	<p>はい、分かりました。</p> <p>垣ノ島遺跡に、プレハブのタブレット貸出も行う案内施設ができたということで、1月末から運用開始ということだが、冬場は来訪者が少ないと思うが、この施設にはボランティアガイドも常駐するということになるのか。</p>
(事務局)	<p>こちらの施設には、案内に対応できるように、ボランティアガイドということではなく、財団で雇用している常駐のガイドの方が、これまでは史跡内を巡回したりとか管理棟にいたりしていたのだが、入口の案内施設に常駐するように運用を変えている。</p> <p>具体的に何人常駐という形ではないが、必ず誰かは常駐していただくような形で運用していきたいと考えている。</p>
(議長)	<p>はい、分かりました。</p> <p>ちなみに、令和5年度内のタブレット貸出数は、概数でかまわないので、どのくらいあったのかをお聞きしたい。</p>
(事務局)	<p>来訪者の手持ちのスマートフォン等で見ることができるということもあり、貸出数自体は伸びていない。</p> <p>佐藤委員（縄文文化交流センター館長）、いかがですか。</p>
(佐藤委員)	<p>貸出数は多くはないが、今年度はタブレット貸出のPR・周知をして、学校関係の利用者が伸びている傾向がある。</p> <p>また遺跡の入口に案内窓口施設ができたので、ガイドスタッフが来訪者に声掛けする際に、タブレットの貸出ができることも案内している。</p> <p>今後は貸出数も増えていくものと考えられる。</p>
(事務局)	<p>今回、案内窓口施設を設置したことで、本格的にタブレット貸出・体験受付の対応ができる体制となったため、これをどんどん活かしていきたいと考えている。</p>

(議長)	はい、ありがとうございます。 それでは、次に、地域おこし協力隊2名が配置されたが、地域おこし協力隊と教育委員会や縄文関係との連携について詳しく教えていただきたい。
(事務局)	今後、支所との話にもなるが、例えば縄文文化交流センターで、地域おこし協力隊の方にガイドの体験をしていただくなど、協力関係を取りながら事業を進めていきたいと考えている。 南茅部支所からも説明をお願いします。
(南茅部支所)	地域おこし協力隊については、1名が学芸員資格を保有し、また縄文文化に興味がある方に入っている。先ほど話があったとおり、縄文文化交流センターや垣ノ島遺跡・大船遺跡で研修を受けながら、地域のことを知ってもらうことをこれから進めていきたいと考えている。また、それを活かした形の中で、南茅部地域をPRする、縄文をPRする、というような形まで進めていきたいと考えている。委員の皆様には、これからいろいろな形の中でご協力をお願いすることがあるかと思うので、よろしくをお願いします。
(議長)	はい、ありがとうございます。 せっきくの協力隊なので、積極的に地域内に入って、活動展開していただきたい。 縄文ばかりではないという考え方もあるが、地域の中で周知されているのは縄文ですし、それを地域外にどんどん発信していただきたい。地域内においても、協力隊そのものが地域にいて理解してもらえよう活動展開をしていただきたいと思っている。 ありがとうございます。

③ 世界遺産の保全にかかる遺産影響評価（令和5年度下半期）

(議長)	事務局に説明を指示
(事務局)	(資料3)「世界遺産の保全にかかる遺産影響評価」 (令和5年度下半期)説明
(議長)	飲食店の関係で、この土地は民有地なのか。
(事務局)	市の土地ではなく、民有地である。
(議長)	民有地で、持ち主が建てるのであれば、遺産影響評価で影響がないとすれば、これは不許可ということにはならない。
(事務局)	地下遺構への影響はなく、周辺の景観を阻害しない必要最低限の高さとしているほか、色彩なども充分考慮されていると判断されることから、遺産影響評価で影響がないと評価したものである。
(議長)	当初、飲食店ではなく、海産物の加工品の販売所と聞いていたが、飲食を伴う施設なのか。
(事務局)	はい。市教委では飲食店と聞いている。
(議長)	広さはどのくらいなのか。
(事務局)	お手元の資料で建設予定地の写真を示しているが、何平米なのかの資料を本日持ち合わせていない。

(議長)	<p>わかりました。結構です。建ってみればわかると思う。確かに縄文文化交流センター付近に飲食店が欲しいという地域からの要望も結構ある中で、どの程度の規模の飲食店なのか、遺産影響評価で影響がないとすれば、楽しみにしていいのかなと思う。</p> <p>次に階段について、実際に垣ノ島遺跡内の階段の上り下りを経験したが、全体の景観から見て、私は砂利の方がいいのかなと思う。逆にアスファルトを敷いてしまうと雨の時に滑るのではないかという考えがあるのだが、その点はいかがですか。</p>
(事務局)	<p>来訪者からも足が石に引っ掛かるとの声も聞いているほか、管理上も草が生えたり、また雪かきをする時にも砂利を引っ掛けてしまうということもあったことから、その2つの側面から、砂利敷きからアスファルト舗装にした方がより良い見学環境を作れると判断して、施工しようと考えていた次第である。</p>
(議長)	<p>アスファルトにすると管理の面で経費がかかるのではないかと。アスファルトはいくら転圧をかけても、古くなるとひび割れをするため、全部貼り替えなくてはならない。砂利であれば補填するか、補充して転圧すればいいと思うのだが。私は全体の景観から考えても砂利の方がいいと思うが、他の委員はどう思うか。</p>
(佐藤委員)	<p>はい。私たち（財団）が市から委託を受け管理をしているが、私や管理人も砂利が減ってくるとつまづくことが多い。そういう意味でも、アスファルトだと維持管理、後々の補修費用はかかるが、管理する側からすると安全に利用していただけるのかと思うので、ありがたい。また除雪も、砂利だと大変だというふう聞いていたので、後々の修理費用は別にして、アスファルトにしているのであれば、よかったと思っていた。</p>
(議長)	<p>いろいろと現地を見て検討した結果ということなので、分かりました。よろしく申し上げます。</p>

(2) その他

(事務局)	<p>事務局から下記3点を説明。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 市道大船高台1号線の廃道 2) 青森県における情報発信拠点整備に係る要望 3) 来年度の会議開催予定
(議長)	<p>青森の拠点施設が設置されるのお話だが、前にも私の方からできれば函館に拠点施設を、できれば南茅部にと、そういう思いがあるが、青森にできる施設の記事をみると立派だと思う。これくらい北海道に援助してもらえれば、やはり国宝のある南茅部が一番相応しいのかなと考える。北海道では黒曜石も国宝になったが、縄文そのものは特別な意味があるのかなと思う。できれば函館・南茅部ということで、これからも市からどんどんアピールしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>

5 閉会

(事務局)	閉会
-------	----

(了)